

事業報告書



~ 分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE!~

広島原爆の残り火「平和の火」を携えて、平和へのメッセージを発信しながら世界各地を巡るアースキャラバン。2018年は、数多くの新しい土地での開催が実現。国内14ヶ所、国外4ヶ所でピースコンサート、シェアマーケット、ワークショップを中心に、イベントを実施しました。パレスチナ支援11日間活動の旅も無事終え、世界各地で相互理解のための場を創り、人種や国籍、宗教を超えて、他文化への理解を深めることができました。各地で集まった支援金は、戦争や紛争、災害で傷ついた人々へ寄付いたしました。

特定非営利活動法人アースキャラバン

Japan. Europe. Middle East. North America.

「Earth Caravan 2018」事業報告

人種、宗教、国籍、思想、信条などを超えて、地球に生きるすべてのいのちを大切にし、紛争や戦争のない 目的 平和な世界の実現を目指して、「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE!」をテーマに、他文化との 相互理解を深めるために Earth Caravan 2018 (アースキャラバン) を実施しました。 期間 2018年5月3日(京都)~9月16日(東京) 催 特定非営利活動法人アースキャラバン(理事長 野本祐子) 主 広島県、広島市、長崎市、京都市、浜田市、松山市、八女市、江東区、朝日新聞社、毎日新聞社、京都新聞、 後 援 中國新聞社、長崎新聞、愛媛新聞、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、NBC 長崎放送、 核兵器廃絶長崎連絡協議会、長崎県教育委員会、(一社)江東区観光協会 ㈱東洋商会 ショップマドレ、あんぜん農産供給センター、リラクゼーションサロン 蓮~ren~、 協賛 佐井鋼 株式会社、焼きにくや いちなん、SAND SUN CREATIVE、NPO 法人スウィング、おんどや、氣倖堂、 檸檬の樹、オタフクソース㈱、㈱イワミツアー広島支店、福祉車専門店オレンジ、第一食品工業㈱、もみ爺本舗、 セーラー万年筆(株)、きょうされん広島県支部、並木盛自動車株式会社、東京南部生活協同組合、肉菜処 和心、 沖縄物産 真南風、天規料理英会話、はなみずき治療院、東京タオサンガセンター





田上長崎市長、松井広島市長より、アースキャラバン2018へのメッセージを頂戴しました。そして5月3、4日京都イベントを皮切りにスタートし、6月9日カナダのモントリオールにて、北米先住民族との交流イベントを行いました。7月1日~7日は、ボスニア、セルビアでも初開催し、紛争で傷ついた地元の人々との間に強い絆を創りました。



一方、日本では、世界に「現代のガンジー」と呼ばれる平和活動家のサミー・アワド氏が、パレスチナ・ベッレへムから参加しました。7月14日、長崎市(諏訪神社)出発式を行い、広島原爆の残り火(平和の火)を携え、熊本市(日本福音ルーテル大江教会)→福岡星野村(麻生神社)→松山市(松山ユースホステル/松山東雲中学・高等学校)→広島市(ハノーバ庭園)と5つの街を巡りました。サミーさんとアースキャラバン一行15人は、各地でパレスチナの現状や平和について講演を行い、多くの方に現地の実情とメッセージを届けました。

その後、7月31日~8月10日に行われた中東パレスチナ現地支援の旅には、国内外より約30名が参加しました。東エルサレムの現状や実態を見て回り、ベッレヘムの難民キャンプや、家屋を破壊されている村を訪問。南へブロン・ベドウィンの村では、人力で土木作業を行い、また地元の方と一緒に家を建設しました。ナブルス市では、「Nagasaki Day 8.9」イベントを市と共催し、市長もお越しくださいました。また、ナビサレ村の子ども達50名を招待。一方、お茶や折り紙などの日本文化の紹介を、ナブルス市民に大いに楽しんでいただきました。ベッレヘム市長から長崎市長へ、ナブルス市長から広島市長へ、アースキャラバンを通してメッセージも頂戴しました。

帰国後の9月5日から、パレスチナの旅に、今年初めて参加した宮城県在住の、 楠本凛さん(13歳)による、自転車で移動しながらの中東報告会が神戸でスタートしました。大阪→京都→滋賀→名古屋→浜松→鎌倉→東京と8ヶ所で行い、凛さんが体験したパレスチナの実態や、平和の尊さ、現地の人々の優しさなどの話には、参加者から共感の声をたくさんいただきました。そして9月15、16日、「アースキャラバン2018」は、最終地の東京イベントで幕を閉じました。









Earth Caravan 2018 京都

日時	5月3日(木)~4日(金) 10:00~17:00
会場	梅小路公園 水族館前 野外ステージ周辺
共催	グリーンフェア
協 賛	リラクゼーションサロン 蓮〜ren〜、(株)東洋商会 ショップマドレ、あんぜん農産供給センター、 佐井鋼 株式会社、焼きにくや いちなん、SAND SUN CREATIVE、NPO 法人スウィング
協力	わくせいサンガエコガーデン、自転車屋ノットンナル、日本折紙協会、PEACE ON、京山食品

「食べて遊んでシェア!"世界のこどもたちを笑顔に!"」をテーマに、新緑に囲まれた会場で平和とチャリティーのお祭りを創り、2日間で約1万人の来場者を得ることができました。93名ものボランティアの方々は、高校生から社会人の方まで、と多様で、共に汗を流して会場を盛り上げてくれました。ステージでは、14組の出演者たちがチャリティー出演。音楽やダンスを通して幸せをシェア!して下さいました。障がいのある方ない方、子どもから高齢の方までの様々な笑顔が溢れる2日間となりました。

売上げの50%~100%が寄付になるシェアマーケットには、35店舗(うち啓発ブース6店舗)が出店しました。ブースは、多国籍な食や、安心安全な食材を使ったおやつの販売、また、自然素材の物販など様々で、購入する楽しみと、買い物が寄付に繋がる喜びを来場者に感じていただくことができました。







74年前の被爆地、広島 長崎を体感的に想像して いただくブースを設け、 広島原爆の残り火「平和 の火」のを設置しました。 祈りを捧げられる方や家 族で手を合わせる姿も見 受けられました。このブー スで、たくさんの方に核 兵器廃絶のための署名を していただきました。



Earth Caravan 2018 カナダ

日時	6月9日(土)	日時	8月6日 (月)
会 場	モントリオール	会 場	トロント
協力	ケベック・イヌー・ネーション・コミュニティ	協力	広島長崎デイ連合 (HNDC)

心の内にある差別心が、相互理解や共存へと転換されることを願うイベント、「Reconciliation... 和解コンサート」を行いました。開催地はモントリオール市の公園内にある野外会場で、アースキャラバンに賛同する北米先住民・イヌー・ネーション3組のアーチストが出演しました。音楽はあらゆる垣根を超えて共鳴し、その場の人たちを繋げ、皆で、素晴らしい時間を共に過ごす事ができました。今回3年目を迎えたイヌー・ネーションとの関わりでしたが、アースキャラバンは、今後も文化の否定や差別による、さまざまな痛みを抱える人々に寄り添い、ケアを続け、多様な形で交流していきます。

毎年8月6日行われる、市庁舎前での「広島平和記念式典」に参加し始めて6年になります。この式典は、広島・長崎の原爆投下により何が起きたのかを知り、二度とあのような悲惨なことが起きないようにすることを目的としています。今年の式典では、アースキャラバン・カナダの代表、アレックス・ペリクリタが宣誓文を読み上げました。式典の後はチャリティー指圧を行い、また、灯篭を参加者とともに作り、灯篭流しを行いました。







Earth Caravan 2018 ヨーロッパ

7月1日(日)~7日(土) \Box 時

トゥズラ、スレブレニツァ (ボスニア)、ペトロヴァッチ・ナ・ムラビ (セルビア) 会 場

協力 ピースフレームハウス(トゥズラ)、スレブレニツァ・シティ・オブ・ホープ、ヨハン・セルバノヴィッチ小学校



旧ユーゴスラビア連邦解体にあたって、1992年から95年(コソボを含めると99年)まで、 紛争・内戦の嵐がバルカン諸国を襲いました。異なる宗教を信じる民族同士の殺し合いが終 わって、すでに20年以上が経っていますが、未だ差別があり、民族感情は大変微妙です。人々 の生活が再建するまでには、まだまだ時間がかかると思われます。戦争終結後、世界の関心 は薄れるばかりですが、多くの人々が、戦争によるトラウマをいまだに抱え苦しんでいます。 アースキャラバン・ヨーロッパは、「異なる国籍、宗教を持つ人たちが、お互いを認め合い、

信じ合うきっかけを創りたい!」と願って、バルカン諸国を選びました。初日、トゥズラ市(ボスニアヘルツェゴビナ)のコミュ

ニティーセンターで、「タオ指圧&気と心のワークショップ」を開催。 現地の方にとって最も必要とされている「互いをケアしあう」という ことが実現され、感動の声をたくさん聞きました。次に、スレブレニツァ 市では、「希望の町」というプロジェクトに参加しました。スレブレニ ツァ市は、95年に8000人以上のボスニア/イスラム教徒が虐殺 されました。これは、第二次世界大戦以来、最悪のジェノサイド(大 量虐殺) でした。アースキャラバン・メンバーは村の家庭にホームス テイし、戦争体験の証言の聞き取り調査を行い、さらに、明るい未来 の実現に向けた話し合いました。その後、ボスニアからセルビアへ国



境を越え、2日間のピースサイクリングを行い、翌日、ペトロヴァッチ・ナ・ムラビ市の小学校で、日本文化関連のワークショッ プを開催しました。ワークショップには、子ども達とその親御さん50~60名が参加し、書道や寿司、折り紙等の日本文化に、 興味津々で取り組み、大変喜ばれました。現地の方からは、伝統的な歌やダンスを披露して頂き、楽しく文化交流しました。 また、ペトロヴァッチ・ナ・ムラビ市長から、ピースメッセージをいただきました。今回、新聞やテレビ、ラジオ局から、た くさんの取材を受けました。多くの地元の方が、アースキャラバンに強い関心を持って参加してくださいました。コラボした人々 との間に強い絆ができ、私たちは理解し合う大切な友人となりました。そして、これから共に明るい未来を創っていくことを、 互いに認識し合いました。



ピースサイクリング第1弾 長崎~広島 パレスチナの平和人権活動家 サミー・アワド氏 講演巡礼の旅

【日程】7月14日(土)~7月20日(日) 【行程】①長崎→②熊本→③星野村→④松山→⑤広島

福福岡県星野村に保管されている広島原爆の残り火である「平和の火」を携え、ピース サイクリングチームが長崎を出発。平和のメッセージを発信しながら、各地でイベント を開催しました。今年は、パレスチナから"現代のガンジー"と称される平和活動家「サ ミー・アワド氏」(写真右)が初来日し、ピースサイクリングに参加しながら、パレス チナの現状や平和について講演を行いました。同行者には、マイケル・ジャクソン等の 作詞をしている、世界的作詞家クリス・モズデル氏、

広島平和文化村のスティーブン・リーパー氏など。

【サミー・アワド氏 プロフィール】 パレスチナ生まれ。"現代のガンジー"と称される世界的に著名な平和活動家。キリスト の生まれた街、ベツレヘム在住。イスラエル占領下の苦しみに喘ぐパレスチナ人の人権 を、非暴力平和活動に基づき擁護する団体「ホーリーランド・トラスト」の代表を務める。



①Earth Caravan 2018 長崎

日 時 7月14日(土) 13:00~14:45

会 場 鎮西大社諏訪神社

力 鎮西大社諏訪神社、立正佼成会長崎教会、純心女子高校、活水高校、蓮聖院、着付け教室藍









ン・リーパー氏による平和のスピーチの後、活水高校・平和学習部の生徒が、長崎原爆資料館屋上庭園に建立されている「ふりそでの少女」のエピソードを通して平和を訴えました。田上富久長崎市長から、アースキャラバンへのメッセージを今年もいただいており、それを長崎原爆資料館長の、中村明俊さんに代読いただきました。そしてクリス・モズデル氏が登壇。「平和の火」を世界に運ぶアースキャラバンにインスパイアされて書き下ろした詩、「金色の華の炎」を英語で朗読し、日本語訳は高校生が行いました。アースキャラバンのバンド、"アミナダブ"によるライブの後、被爆校でもある純心女子高等学校・音楽部のみなさんによる、手話も交えた澄みわたる素晴らしい合唱が会場を包み、歌うことを通しての平和を発信しました。サミー・アワド氏によるスピーチでは、毎年広島と長崎の原爆投下の日に、その苦しみを忘れぬようパレスチナでセレモニーを行っていること、いつかパレスチナにも自由と平和が訪れることを願っていること、また、アースキャラバンに対して抱いている希望などが話されました。そして、ベッレへム市長から長崎市長へ預かったメッセージを披露し、今後の両市のパートナーシップを願って終了しました。その後、ピース・サイクリングの旅立ちを祝して、立正佼正会による郷土芸能の龍踊りとアースキャラバンのテーマソング「SHARE!」が合唱される中、サイクラーたちは出発しました。

ピースサイクリング第1弾のスタートは、被爆地長崎市内の諏訪神社で行われました。スティーブ

②Earth Caravan 2018 熊本

日時	7月15日(日)16:15~17:30
会場	日本福音ルーテル大江教会
協力	日本福音ルーテル大江教会、立野泰博牧師



会場がキリスト教会でのイベントだったため、イエス生誕の地ベツレヘムから来日したサミー・アワド氏が、特に、"キリスト教"という視点からパレスチナについてのトークを行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、クリス・モズデル氏による「金色の華の炎」の朗読。続いて、アミナダブの演奏があり、フィナーレは、アースキャラバン一行による「パレスチナよ、自由に!」の合唱で締めくくりました。参加者の方々からは、"パレスチナで同じキリスト教徒が苦しんでいることを初めて知った"、"とても勉強になった"、"詩も音楽も素晴らしかった"、さらに、"アースキャラバンの人たちが、本当に楽しそうにやっているのを観て、こちらまで嬉しくなった"、"元気づけられた"等々の声を聞きました。多くの方が、支援につながるアースキャラバン・グッズを購入して下さいました。

③Earth Caravan 2018 星野村

日 時 7月16日(月)11:00~18:30

会 場 麻生神社



西日本豪雨災害の爪痕の残る酷暑の中、ピースサイクル・メンバーであるサミー・アワド氏と、オーストラリアから参加のアダム・グリーンフィールド氏の2人が、会場までの長い坂道を登り切り、自転車で到着。神社の境内で和太鼓の演奏が鳴り響く中、参加者から拍手で迎えられてイベントがスタートしました。フィナーレでは、「パレスチナよ、自由に!」を合唱。会場ではパレスチナの独立を願い、大きなパレスチナの国旗が振られていたのが印象的でした。



4 Earth Caravan 2018 松山

日 時 7月18日(水) 19:00~21:00 、 19日(木) 10:50~12:00

会場 18日:松山ユースホステル2階 19日:松山東雲中学・高等学校

協力 井上理香,摩耶,莉那、田中戸、松山東雲中学·高等学校、中村治先生、愛媛 CATV

18日にピースサイクリング・メンバーが松山の会場に到着。サミー・アワド氏によるピーストークでは、パレスチナの現状や争いの起こる仕組み、平和について等、とてもわかりやすく話して頂きました。トークは、多くの参加者の心に響きました。その後、クリス・モズデル氏と松山東雲高等学校3年生の越智羽衣音さんによる、素晴らしい掛け合いの「金色の華の炎」詩の朗読に聞き入り、最後はアミナダブによる演奏で癒されてイベントが終了しました。







協賛

翌19日、サミー・アワド氏、アダム・グリーンフィールド氏、本岡丈又氏の3人が、自転車で松山東雲中学・高等学校に到着。YWCAの生徒達から歓迎を受けました。その後、校内のチャペルへ移動し、民族衣装に身を包んだサミー・アワド氏を、全校生徒約400名が拍手で迎える中、講演が始まりした。話は、女子中・高生たちに親近感や共感を持ってもらえるように、写真や地図をパワーポイントを使って見せながら、分かりやすくパレスチナの現状等を伝えており、みなさん熱心に聞いておられました。そして、アミナダブの演奏の後は、アースキャラバンのメンバーと全校生徒でアースキャラバンのテーマ曲「SHARE!」を合唱。「パレスチナよ、自由に!」を会場全員で再度大合唱し、会場は大いに盛り上がりました。そして最後は、昨夜同様、2人の息の合った「金色の華の炎」の朗読で幕を閉じました。イベント後にいただいた中学一年生からの感想文の殆どが、遠い国パレスチナの痛みも、平和の尊さも、すべて我が事として捉えてくれていたことが印象的でした。

⑤ Earth Caravan 2018 広島

日 時 7月21日(土)、22日(日) 11:00~17:00 21日(土) 19:00~20:30:ピース・キャンドルナイト 会 場 中央公園内 ハノーバー庭園

エ 物 中央公園内 ハノーハー庭園

オタフクソース㈱、福祉車専門店オレンジ、第一食品工業㈱、氣倖堂、おんどや、檸檬の樹、セーラー万年筆㈱ ㈱イワミツアー広島支店、きょうされん広島県支部、もみ爺本舗

今年の夏は、記録的な暑さでしたが、開催日の広島も、両日 37 度を超える暑さ厳しいものとなりました。そんな炎天のもと、今年もたくさんのボランティアさんの協力を頂き、イベントがスタートしました。飛ぶように売れたかき氷の販売でも、学生ボランティアさんの活躍が光りました。約20店舗が出店されたシェア・マーケットでは、来場者の方たちに、会場内だけで使える「シェア通貨」に換金していただき、現金での買い物とは違う楽しさや軽やかさを体験していただきました。ステージでは、被爆地である広島で、サミー・アワド氏の最後のピース・トークが行われました。一方、フィリピン、マレーシア、中国などの民族音楽や舞踊、福祉作業所のよさこい、手話歌、車いすでのダンスなど、国や障がいの有無の別なく、多種多様な地元の出演者達17組によって、音楽やダンスが披露され、会場を彩りました。







[ピース・キャンドルナイト]

今年は広島だけでなく、長崎、京都、東京からも平和へのメッセージが書かれた用紙が届き、 それらを1枚ずつ貼付けたキャンドルに、ピースサイクリングで長崎から運んできた、「平 和の火」を点火。温かな色をした「平和」の文字が暗闇に浮かび上がりました。そこにア ミナダブの演奏が流れ、会場は祈りで満たされる空気に包まれました。



Earth Caravan 2018 中東

日 時 7月31日(火)~8月10日(金)

活動地域 パレスチナ自治区 (ヨルダン川西岸地区)

Holy Land Trust(キリスト教系人権団体)、ベツレヘム自然歴史博物館、ナブルス市、タオサンガ・イスラエル、 アル・アカバ村、タユーシュグループ、タオ指圧協会インターナショナル、他多数



協力







今年で4回目の中東和平キャラバンには、国内外から33名の参加がありました。

最初に東エルサレムを訪問。イスラエル政府によって自宅を追い出されるパレスチナ人家族たちの実態を見聞し、占領の理不 尽さに胸を痛めました。次いでベツレヘム近郊の難民キャンプに行き、音楽ワークショップ、折り紙などで子供たちと交流し ました。子供達からは、伝統的なアラブのダンスや歌を教わり、共に楽しみました。

その後、イスラエル政府から全家屋破壊の宣告を受けている、ワラジャ・スメア村を訪問。この村は、まるで牢獄のように 有刺鉄線の分離壁で囲まれていました。一方、村のすぐ目の前には、国際法違反のイスラエル人入植地が拡大し、植民地化さ れているパレスチナの苦難を物語っていました。

人々はそれでも自棄にならず、最後まで希望を捨てず、未来を切り開こうと励まし合い、石けんなどを製作する、共同の工 房を建てています。









ヨルダン渓谷のベドウィン村では、イスラエル政府がパレスチナ人の 先祖伝来の水源や土地を不当に奪って造った、国際法違反の入植地を見 学しました。

アル・アカバ村に滞在し、夜はアースキャラバンの支援によって設置 された、太陽光発電システムの稼働状態の視察に行きました。

翌日は夜明け前に出発。イスラエル軍によって破壊された家屋再建の手伝いに行きました。 自分が所有する先祖伝来の土地なのに、家を建てると、イスラエル軍が破壊しに来るのです。イスラエル人活動家、パレスチナ人、アースキャラバン有志で作業しましたが、途中、イスラエル軍に発見されると、取り調べを受ける可能性がある中での作業でした。幸い、陽が昇った頃には、無事に家を組み建てるところまで完了し、皆で喜びを分かち合いました。

その他、ベツレヘムのキリスト教系平和教育団体、ホーリーランド・トラストの全館を使って、アースキャラバンフェスティバルを開催しました。現地の人々に、指圧、茶道、書道、折り紙、LIVE 音楽などを提供し、収益を平和教育のために寄付しました。

また南へブロンでは、イスラエル政府が家を建てることを禁じている村に「洞窟を造って住む」という抵抗運動を手伝いました。重機すらイスラエル政府に見つかると没収逮捕されるため、すべて人力で土木作業を行いました。日本人、カナダ人、オーストリア人、パレスチナ人、イスラエル人活動家も、皆、少しでも人々が幸せに生きられるようにと願い、共に汗を流しました。











8月9日の長崎の日には、ナブルス市とアースキャラバンの共催で、ナビサレ村の子ども達50名を招待し、「Nagasaki Day」イベントを開催しました。ナビサレ村は、イスラエルの占領に対する平和的抵抗運動の村ですが、常にイスラエル軍による攻撃を受けています。このため子供達は、満足に遊ぶこともできない状態で、中には村から出たことのない子供達もいます。そのためアースキャラバンは、子供達のためにバスをチャーターし、ナブルス旅行をプレゼントしました。

イベントにはナブルス市長も来られ、市長は積極的に、観客の皆さんにアースキャラバンのテーマ曲"Share"を一緒に歌うように、と指揮までして下さいました。

イベント会場になったナブルス市の公共施設、"マンゴセンター"には多くの市民が詰めかけ、休日の午後から夜遅くまで、日本の文化や音楽を楽しみました。



最年少ジャーナリストとして有名なジャナさんと、被爆二世の 本岡さんによる平和宣言。写真右は、ナブルス市長。





アースキャラバン中東に参加し、長年にわたり、自由や人権を奪われ、暴力的に迫害されている占領下のパレスチナを実地に体験すると、時には、胸が張り裂けるような想いをすることもあります。そして人懐っこくて、優しくて明るいパレスチナの人々や、子どもたちの笑顔に触れるたびに、心から、彼らの平和を祈らずにはいられません。さらに、パレスチナ人のために、身を捨てて、命がけの活動を続けるイスラエル人活動家との出会いには、まるで泥の池に咲く華に出会えたかのような喜びを感じます。世界の人々にパレスチナの実態を知らせるという、アースキャラバンの使命の1つを、あらためて心に刻んだ旅でした。

ピースサイクリング第2弾 広島〜東京 13歳が語るパレスチナ報告会の旅

【報告会日程】

9月5日(水) 神戸市(やさい食堂 堀江座)

大阪市(サクラファミリア梅田教会)

9月6日(木) 京都市(社会福祉法人世光福祉会 イマジン)

9月7日(金) 近江八幡市(日本キリスト教団 近江八幡教会)

9月9日(日) 北名古屋市(平田寺)

9月10日(月) 浜松市(鴨江アートセンター)

9月13日(木) 鎌倉市 (ソンベ・カフェ)

9月14日(金) 東京都北区(フリースクール・東京シューレ)





楠本凛さん(13歳)

【協力】やさい食堂 堀江座、名前のない新聞 賀川記念館、カトリック梅田教会 世光教会、社会福祉法人 イマジン カトリック桃山教会、観音正寺、金念寺 日本キリスト教団 近江八幡教会、Z-TV 想念寺(浄土宗)、清洲山王宮 日吉神社 宗教法人名古屋イスラミックセンター名古屋モスク 日本キリスト教団 名古屋中央教会 平田寺(曹洞宗)、鴨江アートセンター 法伝寺別院、遠藤哲夫さん、ラジオエフ ソンベ・カフェ、フリースクール 東京シューレ

7月の長崎〜広島に続き、アースキャラバン広島実行委員長の伊藤憲正さん(被爆二世)が、9月1日に東広島を出発。相生でバトンを渡された大森未久さんが、9月4日、神戸に到着しました。9月5日の神戸からは、今夏のアースキャラバン中東に参加した東北の楠本凛さん(13歳)が、パレスチナ体験を報告するキャラバンがスタート。9月5日の神戸での報告会を皮切りに、各地で計8回の報告会とラジオ出演を経て、9月14日に東京木場公園に到着。15、16日の東京イベントでも報告会を行いました。凛さんは、パレスチナの現状や平和の尊さ、また、現地の人々の優しさなどに触れながら、参加者からの質問にも丁寧に答えられました。そして、パレスチナのメッセージを届け、多くの方に関心を持っていただきました。



Earth Caravan 2018 東京

日 時 9月15日(土)16日(日)11:00~17:00

会 場 江東区・都立木場公園イベント広場

協 賛 並木盛自動車株式会社、東京南部生活協同組合、肉菜処 和心 沖縄物産 真南風、天規料理英会話、はなみずき治療院、東京タオサンガセンター

協 力 深川資料館通り商店街、社会福祉法人救世主福祉会まこと保育園、NPO法人アーユス仏教国際協力ネットワーク、木場公園管理事務所





15 日は、朝から雨でのスタートでした。16 日は、終日好天に恵まれ、木場公園周辺の家族連れなど、子どもたちも多く来場があり、賑やかなイベントになりました。ピースコンサートの他に、お話ブース、ワークショップ・ブース、子どもたちが思い思いに遊ぶことが出来るブースなども多くあり、いろいろな形で楽しんでいただきました。チャリティー・ライブには、Eテレ「にほんごであそぼ」に出演中のおおたか静流さんなど、1 4 組の例年以上に多彩なアーチストにご参加いただきました。また、古武術家の甲野善紀さんによるデモンストレーションもありました。シェアマーケットでは、ボランティアさんに出店ブースを企画・運営していただきました。結果、外部からの出店22店と合わせると、40店舗になり、会場を盛り上げてくれました。イベント会場内では、広島イベント同様、現金は使わずに、コミュニティー通貨「シェア」への換金による買い物をしていただきました。来場者の方たちは、新しい価値観を楽しまれ、とても和やかな、温かいイベントになりました。今回は、東京大空襲を地元で体験され、今も語り部として活動している上原淳子さんに、お話ブースやステージに登壇していただきました。また、今年のアースキャラバンで各地を巡って東京に到着した「平和の火」の到着セレモニーを行いました。来場された方に「平和の火」を手に取って頂き、戦争の悲惨さについて考える時間を持って頂きました。最後に、来場された方に「平和の火」を手に取って頂き、戦争の悲惨さについて考える時間を持って頂きました。最後に、来場された方にティーキャンドルを分火し、平和への願いを込めて、その火を一斉に吹き消し、「アースキャラバン2018東京」は終了しました。







ベツレヘム市長から長崎市長宛にメッセージをいただきました。

長崎市市長 田上富久様

All and the formula of the control o

ベッレへムの市議会と、イエスキリスト生誕の地の市民に代わり、平和の王子が生まれた聖なる市からの祝福と平和のメッセージを送らせていただきます。長崎市民の皆さまがアースキャラバンを歓迎してくださったように、イスラエルの占領を終わらせて正義を達成しようと、もがき苦しむパレスチナの人々に絶え間ない支援をして下さっている彼らアースキャラバンと、日本の皆さまに感謝します。遠藤院及氏が率いるアースキャラバンは、パレスチナと日本の懸け橋として積極的に活動して下さっています。平和、正義、そして平等な人権を切に願うパレスチナ人として、私たちは、世界中にメッセージを伝えることを目指しています。その中の重要なことの一つとして、第二次世界大戦中、長崎と広島が経験した苦しみを決して忘れない、ということがあります。私たちは、あなた方とともに、戦争と核爆弾に反対し、世界平和に同意します。これを機にぜひともベッレへムにご招待し、両都市の協力関係と友好関係を構築させて頂くことを願っています。

ベツレヘム市長(補佐官)ハンナ ハナニア

ナブルス市長から広島市長宛の手紙もいただきました。 アースキャラバン HP からご覧ください。



Earth Caravan 2018 支援報告

1. パレスチナへの支援

① Holy Land Trust (キリスト教系人権擁護団体)3,980ILS= 約 120,000 円

Holy Land Trust は毎年、「ベッレヘム・フェスティバル」という、街をあげての大規模なお祭りを開催しています。残念ながら政治情勢悪化の為、今年は開催されませんでしたが、アースキャラバンは Holy Land Trust 全館を使用し、2日間に亘りチャリティ・フェスティバル、"JAPAN DAY"を開催しました。そして、タオ指圧、浴衣の着装体験、お茶、折り紙、巻寿司、そしてボードゲーム"チャトランガ"を提供し、売上をパレスチナの教育支援金、及び団体の運営費として寄付しました。

- ② ベドウィン族 教育支援金 1,500 ILS = 約 45,000 円
- ③ アル・アカバ村 運営支援金 3,000 ILS=約 90,000 円
- ④ サビール活動支援金(キリスト教系平和団体) 1,800 ILS= 約 54,000 円
- ⑤ ナブルス市及びナビサレ村支援金 \$1,500=約165,000円 ナブルス市との共催により、ナビサレ村の子ども達50名を古都ナブルスに招待し、 ミニ旅行と子どもたちが一日中遊ぶ、"Nagasaki Day" を開催しました。ナビサレは、 占領に対する平和的抵抗運動の村で、常にイスラエル兵による攻撃を受けています。 このため子ども達は、生まれてから今日まで、自由に遊ぶことも許されない環境下 で過ごしています。そこで、アースキャラバンはナビサレ村とナブルス市に提案し、

⑥ ガザ浄水器プロジェクト 100.000 円

彼らにバス旅行と楽しい1日をプレゼントしました。

人が住める安全基準を下回る劣悪な環境で生活しているガザの人々に、安全な水を届けるため、2017年に脱塩浄水器設置プロジェクトを始め、2018年に1基(150万円)を設置しました。

2. バングラデッシュ 少数民族仏教徒教育支援 100,000 円

アースキャラバンでは、2006年より継続して、バングラデシュの仏教徒ラカイン族の子ども達の教育支援を行っており、現在、小学校を3校運営し、毎月11人の先生方及び2人の仏舎利塔管理人の給料を支払っています。今回アースキャラバン2018から10万円を寄付しました。

別途、NPO 法人アースキャラバンとして、2018 年度分、500,000 円の支援をしています。

3. 西日本水害支援 50,000 円

支援総額 724,000 円 支援致しました。















Earth Caravan 2018 収支報告

■事業収入

- 収入内訳-

・出店者売上支援金・・・・・・・639,325 円 ・アースキャラバン - 本部収入・・2,431,847 円 ・雑収入・・・・・・・・・・151,480 円 ・活動への寄付金・・・・・・・8,472 円 ・NPO アースキャラバン負担金・・992,390 円

【収入総額】・・・・・・・・4,223,514円

■事業支出

一支出内訳一

・支援金(国内外)総額・・・・・724,000円 ・アースキャラバン運営費・・・・3,499,514円 【支出総額】・・・・・・・4,223,514円



【ご報告】

アースキャラバン 2018 では、パレスチナの各地、ガザ浄水プロジェクト、及びバングラデッシュ少数民族ラカイン族への教育支援のため、総額 724,000 円 を送金致しました。

各地のイベントでは、出店者様のご協力のもと、売上総額 639,325 円 をアースキャラバン支援金としてご寄付頂きました。また今年の試みとして全イベント会場に於いてシェア通貨を導入しました。(一般に"地域通貨"とも呼ばれているもの)皆様方のご厚意に対し心よりお礼申し上げます。

広報活動は、記者会見、ちらし、ポスター、CD.、DVD、ラジオ出演、ホームページなどの媒体により行いました。

お陰で2018年、ピースサイクルなどでも、マスコミの取材を多数頂きました。

尚、スタッフは全員無報酬のボランティアとして活動致しました。

この度の皆様方のご支援・ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

2018年12月1日

NPO 法人アースキャラバン理事長 野本祐子 アースキャラバン実行委員会 全体実行委員長 遠藤喨及



名 称	特定非営利活動法人 アースキャラパン
設立	平成 18 年 4 月 26 日
事務所	京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367 番地 2
代表者	理事長 野本祐子 (設立時理事長 遠藤院及)
目的等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、気と心の学校の開講、整体の施術、地域通貨の運営、
	芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とする。
事業内容	① 気と心の学校の開校 ② 整体の施術 ③ 地域通貨の運営
	④ チャリティコンサート、チャリティ展覧会の企画及び運営 ⑤ 海外援助活動 ⑥ その他

【NPO 法人アースキャラバン 沿革】

- ■平成 18 年 4 月 26 日 浄土宗和田寺の住職でタオ指圧創始者の遠藤院及によって設立される。東京と京都で「気と心の学校」、チャリティ施術等を開始し現在に至る。中東の子ども達への支援を開始。
- ■平成19年度パングラデシュの子どもたちに対する教育支援活動を開始 (延見時1、小学校2を開設。以後、毎年継続的に支援)
- ■平成 21 ~ 22 年度 ハイチ地震復興支援活動
- ■平成23年3月 東北大震災支援活動開始(物資援助、被災者への定期ボランティア指圧の実施)

「ユニ・チャリティフェスティバル 2011」開催。

- ■平成 24 年~ 25 年度 パレスチナ支援、タイ/ HIV 孤児施設への支援。京都センターにて、震災避難者にボランティア指圧施術(月2回)、気仙沼避難所にボランティア施術者派遣。「ユニ・チャリティフェスティバル 2012」京都・国際交流会館にて開催。
- ■平成25年度 フィリピン・レイテ島台風被害支援(椰子の木募金) アメリカ・オクラホマ竜巻支援金。戦時写真返還プロジェクト(元アメリカ兵が所持して いた写真の写真展開催。2 遺族への返還。沖縄タイムス、朝日新聞、京都新聞に記事掲載)、 京都・梅小路公園にて「ユニ・チャリティフェスティバル2013」開催 (チャリティ支援金978.992円)。
- ■平成 26 年度 バングラデシュの少数民族仏教徒ラカイン族の里親プロジェクトを開始。
- ■平成 27 年度「アースキャラバン 2015」広島からスタートし、ヨーロッパ、中東を巡り、 エルサレムにて終了。
- ■平成28年3月1日 「NPOユニ」から「NPOアースキャラバン」へ法人名変更。
- ■平成 28 年度「アースキャラバン 2016」長崎をスタートし、カナダ、中東を巡り、エルサレムにて終了。
- ■平成 29 年度「アースキャラバン 2017」終了
- ◆平成 30 年度「アースキャラバン 2018」終了









アースキャラバン(イベントWebサイト)

NPO 法人アースキャラバン 東京事務局

NPO法人アースキャラバン

https://www.earthcaravan.jp / https://www.earth-caravan.com/

E-mail: info@earthcaravan.jp

【事務局】



NPO 法人アースキャラバン

〒605-0089 京都府京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367-2 TEL/FAX: 075-551-2770

【その他支部・連絡事務局】















U.S.A(マディソンセンター) 2330 Willard Ave. Madison, WI, 53704 USA TEL: +1-608-257-4663

〒165-0027 東京都中野区野方 1-5-11 TEL: 03-3385-7558

カナダ (モントリオールセンター) 2000 Northcliffe, Suite 302 Montreal, Quebec H4A 3K2 CANADA TEL: +1-514-447-3202

カナダ (トロントセンター)

375 Jane St Toronto ON M6S 3Z3 CANADA TEL: +1-416-925-7575

Via Cavalier Bertini, 31 SOIANO del LAGO(Bs) ITALY TEL: +39-329-418-7060

オーストリア (ウィーン) Neubaugasse 12-14/2 mez/14 1070 Wien AUSTRIA TEL: +43-0664-143-9571

バングラデシュ

Rice Market Road, Takpara RBWA, BLD Cox'sbazar Shodor, Cox'sbazar-4700 BANGLADESH